



皆さんこんにちは！ 日に日に暖かくなってきましたね。
さて今年度も早くも2ヶ月が過ぎようとしています。
1年生の皆さんもそろそろ学校にも慣れてきた頃だと思いま
す。しかし慣れてくると、同時に気も緩みがちになり危険です。
今学期はやどかり祭などの行事もまだ残っています。
しっかり気を引き締めて頑張っていきましょう！

今号のもくじ

先生方へのインタビュー

- ・八反地剛先生……2～3
- ・氏家恒太郎先生…4～5
- ・杉田倫明学類長…6～9

SP散歩……………10

JAXA特別公開……………11

八反地先生へインタビュー！



所属:生命環境系

趣味:息子と遊ぶこと、
ハイキング

☆先生の専門分野についておうかがいします。

——**地形学**について研究しています。その中でも川の上流部やその山の地形の動きや風化について研究します。災害があった時などは原因の究明と純粹に地形の変化が知りたいということで行くことがあります。フィールドワークが多くなりますが実験室で分析をすることもあります。

☆この分野を目指す学生に必要な要素、求めるものをおうかがいします。

——地形学といえども先生によって研究内容は異なります。**「地形学の中で何がやりたいのか。」**それによって必要なことは異なります

ね。斜面崩壊についてやりたいなら水文は大切ですし、風化では岩石や大気科学が関わってきます。自分の興味のあるもの+地形学を学習していると将来地形の研究で意外なつながりがあるかもしれないですよ。

☆学類生にアドバイスをお願いします。

——1、2年生は酒類に注意! 高校生とは異なり自主的に生活する習慣を身に着けましょう。そして**もっとアクティブ**になりましょう。海外旅行とかするのもいいのではないですか。

3,4年生は**自己完結能力**を身に着けることが大切です。受け身だと将来苦労してしまうかもしれないいろいろ経験してほしいです。

☆地形学について宣伝をお願いします。

——筑波大学の地形学は日本のこの分野では**先端**を走っています。さまざまな所に行ける傍ら防災の役に立つこともできやりがいがありますよ。興味があつたらぜひ来てほしいです。

貴重なお時間をいただきありがとうございました。穏やかな話の裏にも先生のこの分野に関する熱い思いを感じました。八反地先生ありがとうございました。

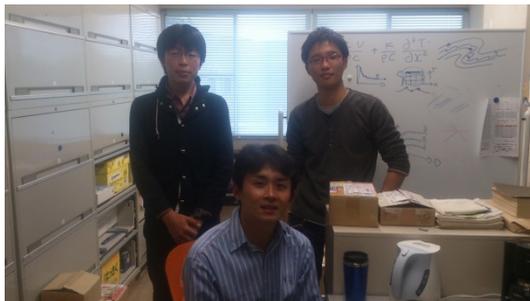
(記事担当:村瀬貴紀、元野勇希、宮原千夏)

氏家先生へインタビュー！

所属：筑波大学生命環境
系地球進化科学専攻 准
教授

JAMSTEC 地球ダイナミク
ス 主任研究員

趣味・特技：温泉、野球



1. 研究テーマ・その手法について教えてください

—— フィールド調査と微細構造を見る。

新しいことをやって行きたい。

摩擦実験

『ちきゅう』に清水港から乗って調査

2. 研究の思い出(辛かったこと、楽しかったこと)を教えてください

—— 辛かったこと…失敗・掘削がむずかしい

楽しかったこと…常に楽しい。思いもよらない発見

3. 先生の学生時代について

——研究していた！

4. 研究を進める上で、あるいは人生の中での先生のモットー・自分の軸を教えてください

——*See what's a happen!* やりたいことはやる

5. この分野を目指す学生に必要な要素、求めるものは何ですか
——幅広く授業をとる。フィールドワークが好き。アンテナを張り巡らせる。積極的に外に出る。(研究室訪問)
6. 先輩の就職先について教えてください
——4年生…アウトリーチ
他は進学 研究室ができて時間が経っていないためまだ卒業していない
7. 学生へのアドバイスはありますか
——1・2年生…幅広く授業を取りやりましたことを様々なアプローチを考えていく。
3・4年生…研究室選び 学問に徹底する。
8. その他宣伝などはありますか
——売り…フィールド
人と違った目でみれる
実験で再現できない→新しい視点が生まれる！

氏家先生、お忙しい中ご協力ありがとうございました。

先生の研究に興味を持たれた方はぜひ一度研究室を訪れてみてはどうでしょう！

(記事担当:松川滉明、木下貴裕、田中基成)

杉田学類長へインタビュー！

地球学類、杉田学類長にインタビューを行い、気になるあれこれについて聞いてきました。

Q1. 先生が行っている研究について教えてください

A1. 現在モンゴル・エジプト・霞ヶ浦の3か所で研究を行っています。
モンゴルでは、人々の生活と水の関係について研究しています。

水がなく草原しかないため放牧生活を行っているモンゴルの人々は、どのように水を利用して生活を送り、また、その水収支はどのようなものなのか。これについては10年ほど取り組んでいます。

エジプトでは、人口増加によりナイル川だけでは水が足りなくなることが懸念されています。実はエジプトは、気温が高く水が豊富なため米の単位面積あたりの生産量が世界一で、水は農業に一番使われています。そのため、その際の蒸発散を防ぎ、なるべく少ない水で作物を作る方法について研究しています。この研究は農業が専門の先生と共同で研究しています。

また霞ヶ浦では、霞ヶ浦の水収支や水質汚染についても研究を行っています。



Q2. 現在の研究を始めたきっかけはなんですか

A2. おもしろそうだから。

大学の先生は好きなことを研究できて、自分が興味を持ったことを研究しています。

Q3. 行ってみてよかった国はありますか

A3. 乾燥しているモンゴルの広大な草原で飲むビールはとてもおいしいよ。

エジプトで飲むビールもおいしいけど、イスラム教のためお酒がダメなので、エジプトでは隠れてこっそり飲みます。現地の人に見つかっても怒られることはないけど、お互いにいい思いはしないので。

外国に行くとき国ごとにいろいろな文化があり、大変だと思うこともあるけど、そこが面白いね。

Q4. どのような人に研究室に来てもらいたいですか

A4. いろんな人に来てほしいです。

全部できる人がベストだがそんな人はあまりいないので、例えば、フィールドが得意な人、データ処理が得意な人など自分の長所を伸ばして自分の得意な分野で活躍してほしいです。

Q5. 尊敬する人はいますか

A5. コーネル大学の研究室にいた時にお世話になった水文学の先生。

科学者としても一人の人間としても素晴らしい人です。

Q6. おすすめの本はありますか

A6. ・水文学(Wilfried Brutsaert 著・杉田 倫明訳・筑波大学水文科学研究室 監訳)

内容:さっき話したコーネル大学の先生が書かれた本です。
難しいので院生でもこの本の内容すべてを理解できる人はすごいと思う。(by 杉田先生)

・水文科学(杉田 倫明・田中 正編著・筑波大学水文科学研究室 著)

内容:水文学の入門書。「水文学」の姉妹版。

・Winter tale

内容:最近読んだ本の中で面白いと思ったのはこれかな。
(by 杉田先生)

Q7. 地球学類の学生に一言お願いします！

A7. 筑波大の地球学類は大学内の他学類と比べても、全国で比べても、とても良い学類だと思います。

その良さを存分に活かして皆さんには頑張ってもらいたいです。

杉田先生、ご協力ありがとうございました。

先生の研究、他国での生活に興味を持たれた方は是非、杉田先生の研究室にお邪魔してみたいと思います。

(記事担当:浅野裕樹、西尾圭祐、松崎奈海)

SP 散歩

SP 散歩に参加し、入学式の前日に同じ学群・学類の人と話ができたのは、不安や緊張でナーバスになっていた自分にとってとても良い経験でした。最初に円になって自己紹介をして大学でしたいことを話し合えたこともよかったです。



SP 散歩では先輩たちが日頃よく使う第1エリアを中心に散歩しながら、施設の紹介をしてくださいました。先輩たちの解説はわかりやすい上に面白かったです。私は施設紹介のおかげで広大な筑波大学で迷わず、いろいろな施設に行けるようになりました！

またクイズラリーでは筑波大学についてのマニアックなクイズが出題され筑波大学について楽しみながら知ることができました。クイズは入学生にとっては奇問難問ばかりで、ほとんど勘で答えろ、といったものもありましたが逆にそれを通じて会話が弾みました。また自分の大学について知ることができ、なんとなく誇らしい気分になれました。

SP 散歩はクイズラリーを通じて、同じグループの中や先輩たちと交流や協力ができるよい経験でした。

クイズの結果発表の時の盛り上がりは、本当に数時間前にあったばかりなのかと思うほどで、皆がお互いに打ち解けあえました！
来年は自分があの青い法被を着て、さらに面白くわかりやすく新入生に大学を紹介したいと思います。（記事担当：武良光、川添航）

JAXA 見学ツアー！！

4月20日(土)はJAXA(宇宙航空研究開発機構)の筑波宇宙センターの特別公開がありました。

せっかく筑波にいるなら行くっきゃない！！ということで、1年生と2年生の希望者で行ってきちゃいました☆



♪ ツアーのタイムスケジュール ♪

9:40 平砂集合 バスでつくばセンターへ

10:15 つくばセンター発 JAXA 行きの無料シャトルバスで JAXA へGO!

10:30 JAXA 到着。見学開始!

～ 各自自由に見学 ♪

15:00 集合。シャトルバスでつくばセンターへ。

15:15 センター到着。解散。お疲れ様でした!

シャトルバスから降りるとまだ 10 時からの公開にも関わらず人！人！人！遠方からの大型バスも止まっていて、それだけ大きなイベントなんだな～と改めて実感しました。

わくわくしながら敷地内に入ると、係の人が地図や様々な企画が載ったパンフレットを渡してくれました。そこからは各自自由に見学！みんなパンフレットを片手にお目当ての展示や企画に向かっていきました。

普段は入ることのできない色々な施設の中に入れたり、つくば宇宙センターが行っている研究について専門の方から詳しく・わかりやすく話を聞けたり、本物の宇宙飛行士の方の講演会に参加できたり！またステッカーやピンバッジなどの嬉しいお土産ももらってもう大満足です＼(^o^)/宇宙をより身近に感じることのできた1日でした*

こんな風に研究施設を見学して、そこで実際に働いている人の姿を見ると、自分の勉強のモチベーションも上がりますよね♪

今回予定が合わなくて来られなかった人も、また行きたい！っていう人も、チャンスはまだまだありますよ☆

つくば宇宙センターでは、年に2回、春と秋にこのような特別公開を行っています！

その春が今回4月20日だったわけです。ということは、年内にもう一回JAXAを見学できる機会があるということです！

毎回同じ展示や企画というわけではないそうなので、また秋には新たな発見があるかもしれませんね！ぜひぜひ、秋の公開も行ってみてください(^_^♪

最後に今回参加してくれた1,2年生ありがとうございました！

(記事担当:中村好江)

地球屋新加入

田中基成
元野勇希
松崎奈海
新井瑛梨
宮原千夏
武良光
伊東慶祐
高橋一輝
川添航
松本直大
木下貴裕

これが新しい地球屋のメンバーだ！

地球学類情報誌地球人2013 第2号
発行：地球学類活性化委員会（地球屋）
発行日：2013年5月21日